

建設業の現状は?課題は?

- 担い手不足・後継者不足
- 高齢化・若者の入職難
- 低い給料・非正規雇用・一人親方
- 長時間労働と時間外労働上限規制



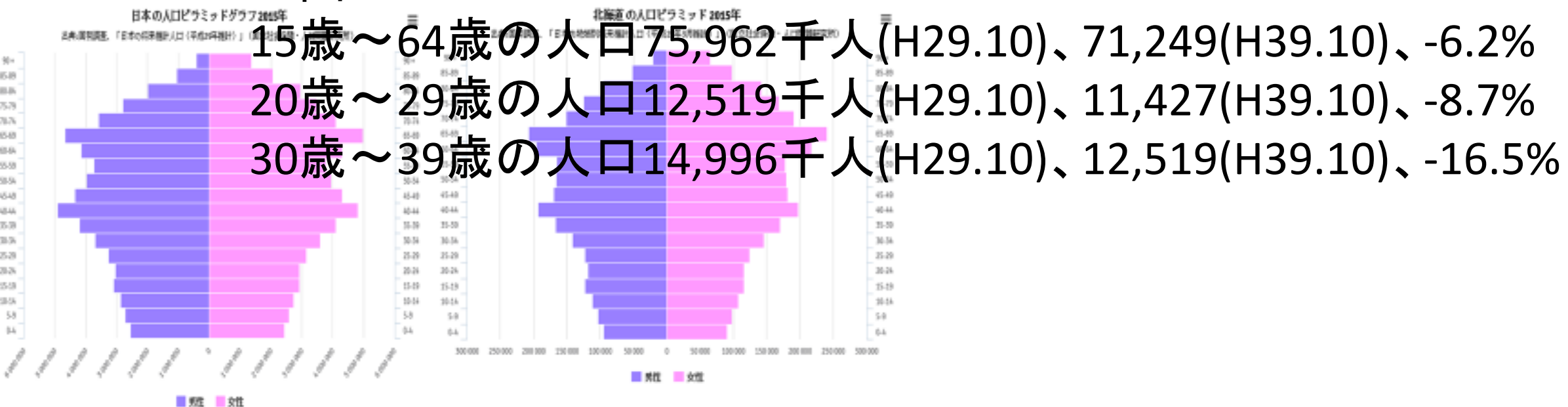
○担い手不足

人口の減少は、しばらく続く。H29の人口をそのままH39に推移して、年齢階層別人口を見ると、15歳～64歳の人口は、-6.2%、20歳～29歳の人口は、-8.7%、30歳～39歳の人口は、-16.5%である。つまり、全産業が人手不足となる。

これを補うことは大変難しいが、当面は、女性の活躍推進と高齢者の活躍を進めていくことが必要になる。

(参考) 人口ピラミッドグラフ

全国

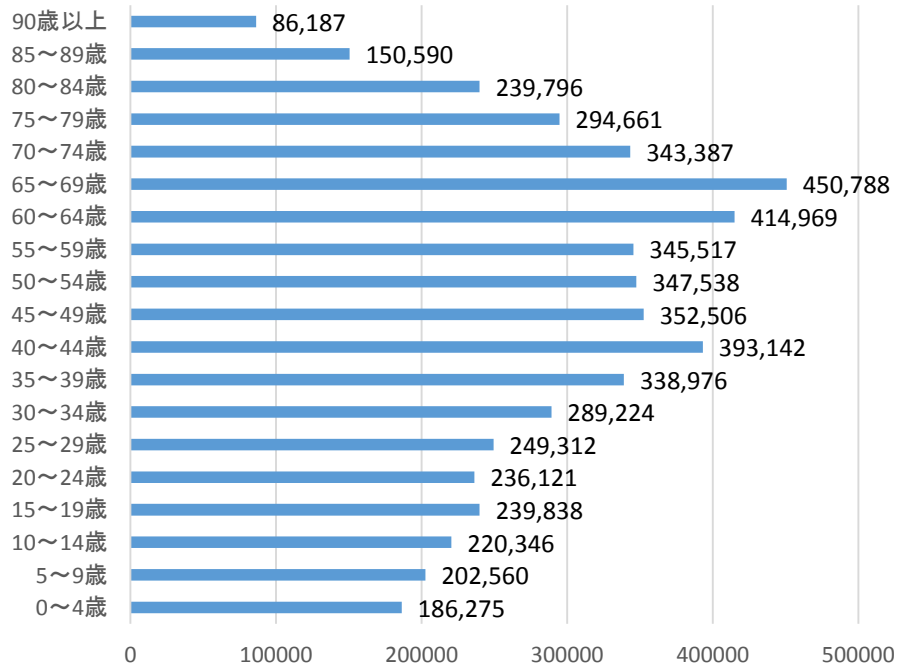


○北海道の人口減少と担い手不足

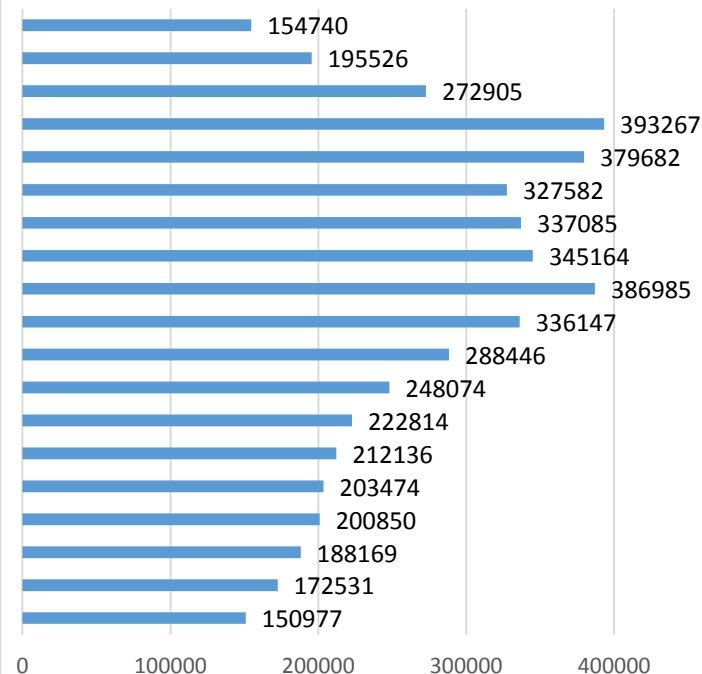
人口の減少は、しばらく続く。H27人口とH37の年齢階層別人口を見ると、15歳～64歳の人口は、-13.3%、20歳～29歳の人口は、-14.4%、30歳～39歳の人口は、-25.0%である。H27人口とH57では、15歳～64歳は、-39.8%、20歳～29歳は、-38.2%、30歳～39歳は、-44.7%である。つまり、全産業が人手不足となる。

これを補うことは大変難しいが、当面は、女性の活躍推進と高齢者の活躍を進めていくことが必要になる。

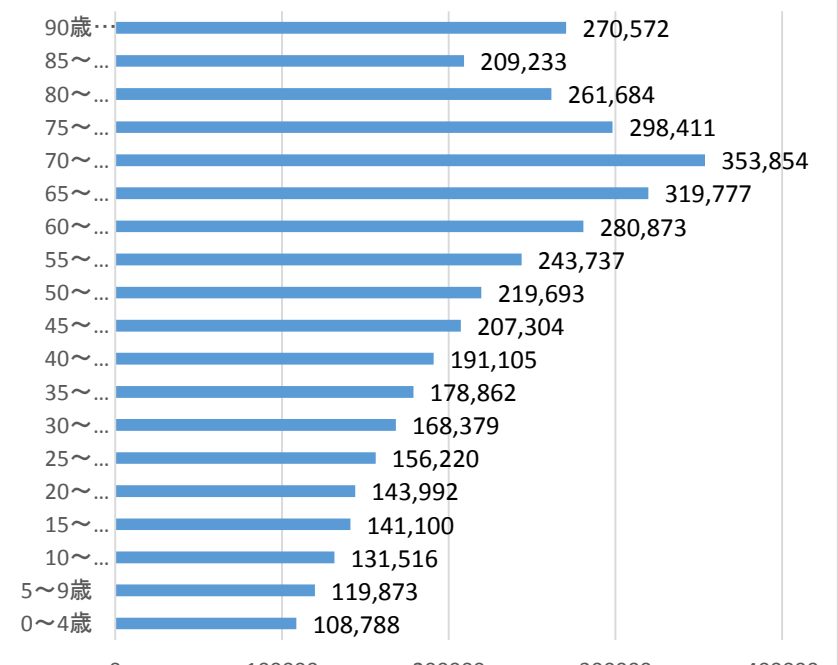
北海道人口2015年



北海道人口推計2025年



北海道人口推計2045年

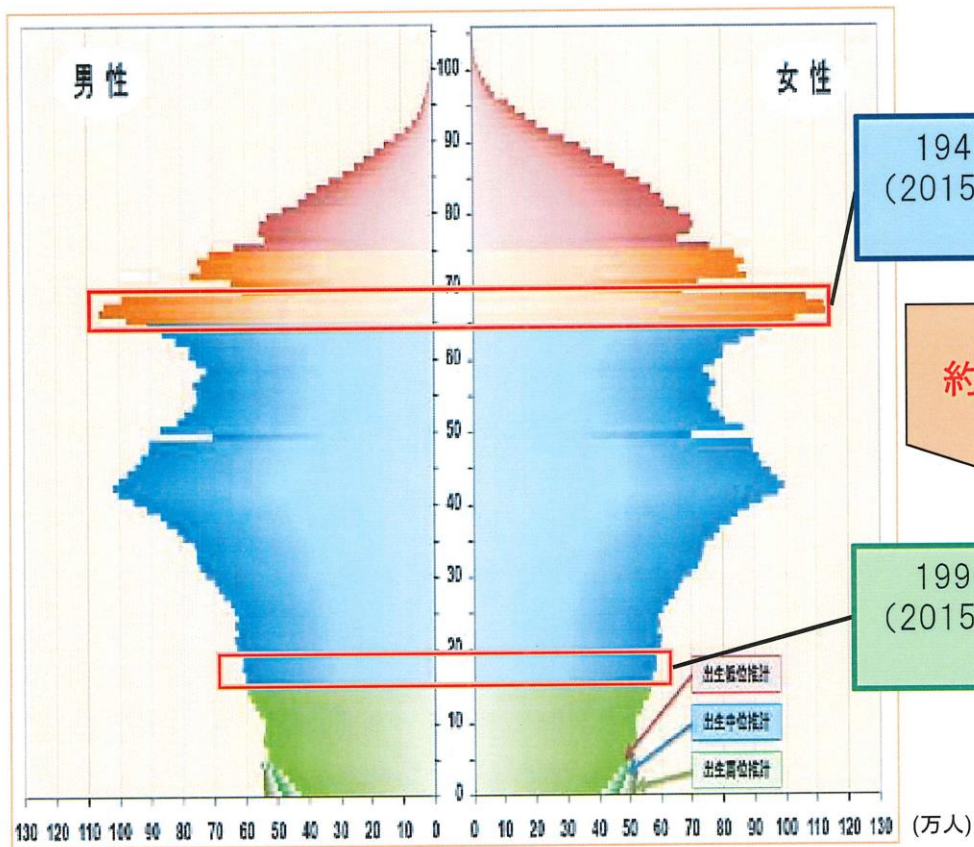


国立社会保障・人口問題研究所HPより、www.ipss.go.jp、北海道建設業協会作成

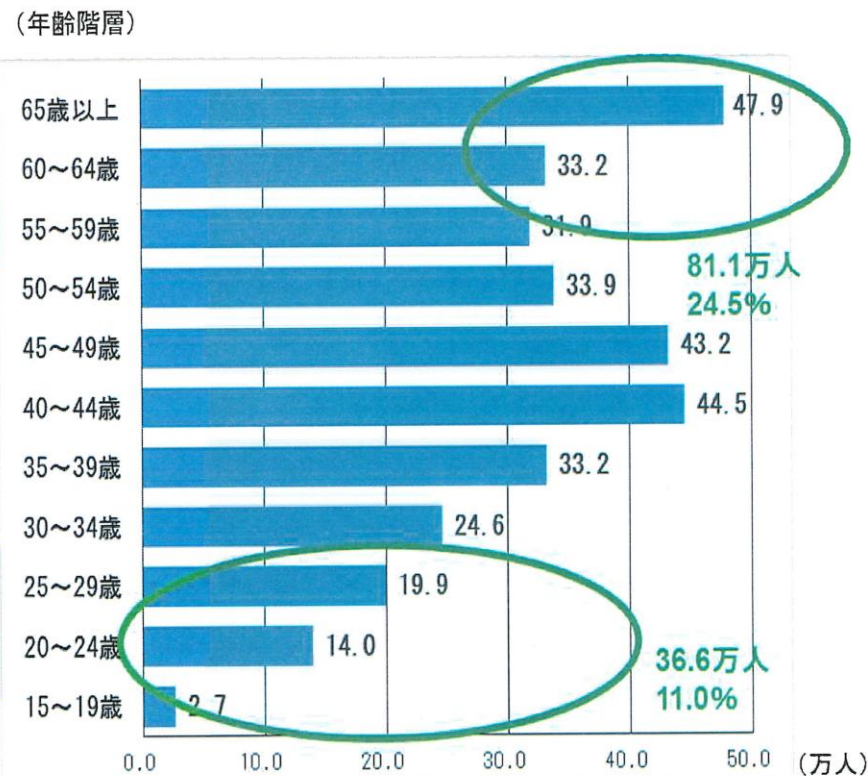
人口減少・高齢化・世帯構成の変化

- 日本の総人口は、2010年の1億2,800万人をピークに減少局面に入り、2060年には約8,600万人、2110年には約4,300万人に減少する見通し。
- 2015年には、今後の日本社会を支える若手(15才～18才)層は、団塊世代層(64才～67才)の6割弱の水準。

2015年人口ピラミッド (推計)



年齢階層別の建設技能労働者数



出所:総務省「労働力調査」

北海道の建設労働者 50歳以上が50%、29歳以下は9%

表3-1-(2)-2 建設労働者の年齢別構成の状況（北海道）

(単位:万人)

	H11	H23	H24	H25	H26	H27
総数	34	22	22	23	23	22
15～29歳	6	2	2	2	2	2
30～39歳	6	5	5	5	5	3
40～49歳	8	5	5	4	5	5
50歳以上	13	11	11	12	12	11

出典:総務省「労働力調査」(資料編表14(3))